

提 案 の 概 要

施設名： 東山公園展望塔

団体名： サンエイ株式会社

※複数の団体により構成されるグループは
各構成団体の名称もあわせて記入する。

(1) 管理運営全般について

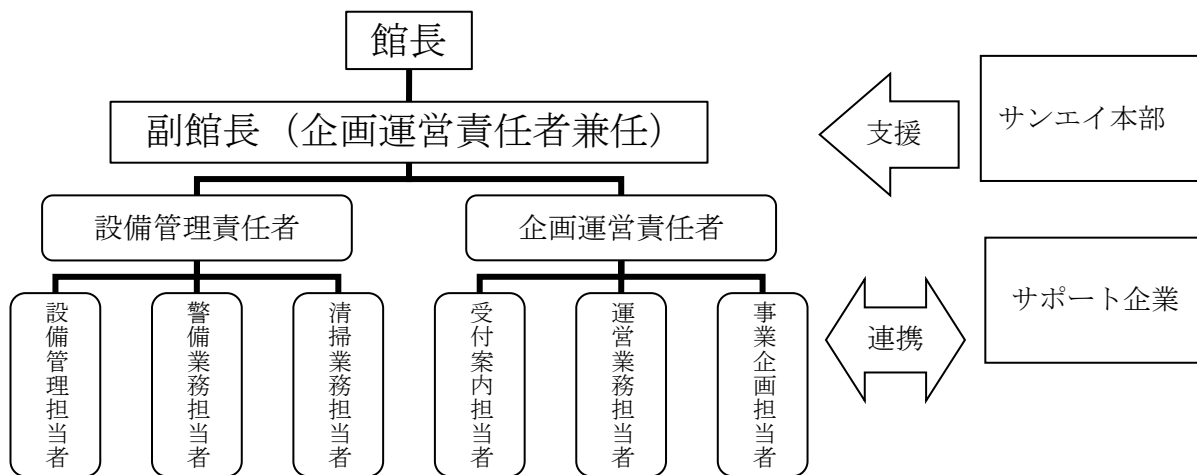
①施設の管理運営に対する方針等

- ・動植物園ならびに地域及び他施設との連携の継続とその強化を引き続きしていき、来館者の安心・安全な施設として本施設の管理運営に努めます。また、時代が求める多様性に対応できる施設づくりと共にコロナ禍の停滞から脱却し、より多くの人々に愛される施設を今後も目指します。以上を踏まえて、コロナ禍後の新しい時代に向け、次の世代へと繋ぐ持続可能なタワーを目指して参ります。

②管理運営体制

<職員配置体制及び管理体制>

- ・館長に各業務の情報を一元化し、全業務を俯瞰することで、各業務の相互連携と効率化を図る。



<人材育成>

- ・各スタッフの業務遂行の根幹である人材育成の為、体系的かつ最適化された研修計画を策定し、サービスレベルのスパイラルアップを図る。
- ・また資質向上・人材育成も目指し、社内OJT研修等の研修を実施。

<災害時の危機管理体制及び事故発生時の対応方針>

- ・本施設に勤務する全スタッフによる防災訓練を年2回実施しており、指導員は弊社より派遣し、具体的かつ実態に基づく「避難計画」を用いて、職員への危機管理の理解度を高める。
- ・貴市の情報伝達訓練に参加し、災害発生時に於ける動植物園及び関係各所との連携を強化する。

災害発生時は常に貴市各施設と情報共有を展開し、迅速に行動がとれる体制を構築する。

＜施設維持管理業務＞

- ・施設の設置目的を達成するために、維持管理水準表に記載された内容を確実に実施することは勿論のこと、施設全体及び設備の状態を常に把握し、安全・安心を第一とした保守点検業務を実施。
- ・美観の維持については業務水準表の回数に拘らず、巡回清掃スタッフ（クリーンキャスト）による清掃と全スタッフによる巡回対応により定常的に美観の維持に努める。

（２）実施業務の計画について

①指定管理業務

＜市民連携及び地域連携＞

- ・２階ホールを有効活用して自主的に企画した市民協働コンサート等のイベントを開催。
- ・防災無線中継基地としての特性を生かし、防災イベント等の企画及びセミナー等を開催。
- ・地域のシンボルタワーとしての価値を創出・向上させるため、近隣の商業施設及び大学や地域団体との事業を展開。

＜利用者意見の聴取及び反映方法＞

- ・市民、来館者のニーズの収集の為、定期的なアンケート及び施設ホームページへの投稿フォームを設置。また普段の接客から得たご意見・ご要望をメモし、全スタッフに回覧。
- ・毎日の朝礼時に前日頂いたご要望・ご意見に対して即対応できるものは即時対応。
- ・隔週及び年度に実施する業務改善定例会時に改善項目の洗出し・対策協議を実施。

＜利用促進策（PR 策）＞

- ・動植物園からの誘致を強化するために昇降路内にて音声アナウンスを実施。
- ・日本緑内障学会、女性に対する暴力をなくす運動、日本臓器移植ネットワーク等各団体と連携しライトアップを実施し協力するとともにスカイタワーのPRも展開。
- ・園外での広報PRとして全日本タワー協議会と連携し、全国タワースタンプラリー等に参加し各地域利用者へのPRを実施。
- ・名古屋コンベンションビューローを加えた、市内の観光施設と連携を図り、情報共有及び協働PRを実施。また県外への誘致活動を行う。

②自主事業（実施している場合）

＜７階多目的スペースの活用について＞

- ・レストランの休業後も様々なイベントを７階で実施。引き続き来館者の満足度向上のため、幅広い層に楽しんで頂けるイベントを展開。
- ・現在の感染症流行が落ち着き、コロナ禍以前の環境に戻った際にはカフェ等の営業を計画。また、お子様連れでも安心して楽しめる空間作りとしてキッズスペースの設置を検討。

＜スカイショップてんくう＞

- ・全国の展望施設関連商品、東山動植物園グッズ、タワーオリジナルグッズなど取り揃えて、観光施設、動植物園関連施設、タワー独自の魅力という多様な要求に応えた店づくりを実施。

(3) 収支計画について

①管理運営にかかる費用等

＜各年度ごとの提案総額（各年度ごとの総計）＞

年 度	金 額
令和 5 年度	95,867 千円
令和 6 年度	96,152 千円
令和 7 年度	96,442 千円
令和 8 年度	96,738 千円
令和 9 年度	97,039 千円
合 計	482,238 千円

＜期間を通じた収支計画（指定期間を通じた項目別内訳）＞

【収入】 (単位：千円)

区 分	金 額
指定管理料	482,238
収益事業還元金	0
収入合計	482,238

【支出】 (単位：千円)

区 分	金 額	備考
人件費	238,645	
消耗品費、備品購入費等	11,895	
光熱水費	0	名古屋市負担
清掃費	13,535	
建物管理費	13,535	
植物管理費	0	常駐スタッフにて実施
設備保守点検費	21,358	
修繕工事費	33,280	
イベント・催事費	20,215	
広報・宣伝費	15,435	
事務管理経費	4,500	
協賛・負担金等	2,645	
受付・案内業務	68,610	
一般管理費	27,790	
租税公課等	0	
支出合計	482,238	

※額には消費税及び地方消費税を含む。

＜経費削減の取組み＞

- ・設備保守点検については、本部の多能工技術者によるメンテナンス業務をトータル的にマネジメントすることで、「ムリ・ムラ・ムダ」を排除し、合理的で経済的な管理業務を行う。
- ・繁忙時には、本部サポートスタッフによる臨機応変な応援体制を築き、常駐人件費の抑制を図る。